

# RYUTA MINE

4320 SAGA

SPECIAL  
INTERVIEW

峰竜太





ダービーは悔しかった

でもそこはしっかりと切り替えます

### 今年を振り返って

1月2日、唐津の正月レースでいきなりFを切っちゃって、どうしようってなりました。出鼻をくじかれたというか。でもそのすぐ後に浜名湖のG1、芦屋の地区選を優勝できたことが大きかったですね。優勝はそのG12回と唐津のお盆レースの3回だけでしたけど、G1はコンスタントに優出できましたし、高いレベルで結果は残せたんじゃないのかな。長い目で見たら悪くなかったと思います。

ただ、SGで優出できていなかったのも、周りからは「調子が悪い」ってめっちゃ言われてたんですよ(笑)。クラシック、オーシャン、メモリアルは準優で3着であと一歩だったし、ちゃんと準優には乗ってたんですよ。あつ、チャレンジカップはホントに良くなかった。久々に悪いエンジンで、直せなかったですね。

あとはやっぱりダービー。かなり悔しかったですよ。2年連続優勝が懸かっていましたし、優勝すれば賞金ランキングも一気に上に行けましたし。予選トップ通過して準優も逃げて、エンジンのには行けるって思いました。でも最終日は水面状況が良くなかったですね。展示からめっちゃ乗りにくくて、1マーク丁寧になりすぎたのが敗因。あれ以上握ると、今度は差されてしまいますし、難しかっ

た。せつかく戸田を得意って言えるようになるチャンスだったのに。でもそこはしっかりと切り替えてます。

結果的には賞金ランキング5位でグランプリに行くことができたので、良しとします。

### オールスターに復帰

3年ぶりですよ。うれしいに決まってるじゃないですか。しかもファン投票1位。ファンにはほんと感謝しかないです。21年のグランプリ優勝戦でやらかして、その後にもやらかしてSGを走る権利をなくして。昨年ダービーで復帰して優勝することができたけど、オールスターは自力じゃ出場できない大会ですから。こんな僕をまた1位で選んでくれたわけですから。準優で負けてしまったけど、その期待に応えたっていう気持ちには、誰にも負けていないと思う。やっぱりオールスターは別格です。オールスターファン投票1位で優勝。もう一度、やりたいですね。

### 愛弟子のSG初優勝

いや。僕の夢を叶えてくれましたね。自分の優勝もうれしいけど、それ以上でした。「また泣いた！」って言われましたけど、そりゃ泣くでしょ(笑)。今年はお僕よりサダ(定松勇樹)だなんて思

SPECIAL  
INTERVIEW

# RYUTAMINE



いました。僕の最後の弟子が、僕が一番思い入れがある大会（オールスター）を勝ってくれた。師弟でのオールスター優勝なんて、これ以上最高なことないでしょ。サダはこの優勝でグランプリはほぼ当確になったわけですから、次は自分だな、と。一緒にグランプリに行くためには、あとは僕が頑張らないと。モチベーションになりましたね。弟子が18人に残って、師匠がいらないなんてカッコ悪いことはできないなって。それにサダを1人で行かせるわけにはいかないじゃないですか。

## Profile

峰竜太(みね・りゅうた)

1985年3月30日生まれの39歳。唐津市出身。2004年11月に唐津で95期生としてデビュー。デビュー後、すぐさま頭角を現し、記念戦線の常連に。17年の丸亀オーシャンカップで悲願のSG初優勝。グランプリは18、20年の2度制覇し、MVPに輝いた。15年から7年連続で年間最高勝率をマークするなど数々のタイトルを獲得する。同期には山田哲也、海野康志郎、岡村仁、青木幸太郎、藤崎小百合がいる。

	勝率	2連対率	出走回数	優出	優勝	1着	F
通算成績	7.70	57.59	4824	271	103	1745	13

	日付	競艇場	レース種別	通算日	節間成績
	初出走	2004/11/10 ~	唐津	タイトル	24533546
	初1着	2004/12/26 ~	福岡	タイトル	4553214
	初優出	2005/04/13 ~	下関	一般競走	0年 6か月目 234434失14
	初優勝	2005/11/01 ~	唐津	タイトル	1年 1か月目 失22212311
G I	初出場	2007/01/13 ~	唐津	周年記念	2年 3か月目 566失33412
	初優出	2009/01/29 ~	芦屋	地区選手権	4年 4か月目 3321211
	初優勝	2009/01/29 ~	芦屋	地区選手権	4年 4か月目 3321211
SG	初出場	2007/05/29 ~	住之江	笹川賞	2年 8か月目 512失5655
	初優出	2011/05/24 ~	尼崎	笹川賞	6年 8か月目 失131125
	初優勝	2017/07/12 ~	丸亀	OC競走	12年 9か月目 31132211

体のケアも必要ですよね  
100%の力を発揮するには



初めてのグランプリなので、僕と一緒に走っているいろいろと教えてあげないと。あの独特の雰囲気を含めてですね。もちろん僕も負けるわけにはいかないですけど。

### 出走回数調整

僕のことをよく見てくれている方は気付いているかもしれませんが、実はあつせんを月2ペースにしているんです。記念レースが中心ですね。最初に言っておきますけど、一般戦を断つてるとか走りたくないとかじゃないですからね。やっぱり年齢を重ねてくると、体にガタが来ちゃうんですよね。どこが痛いとかケガをしているとかじゃなく、最近はあるせんも詰まっていて休みがないような日々

が続いていましたから。休日にも取材や撮影ロケが入ったり。特にマクル（笑）。もちろん業界のために協力しますよ。

忙しいと、全てレースで100%の力を発揮することが、難しくなってきた。そりやそうですよ、体力は年々落ちていくもんですから。だからあつせんを少なくしているのは、体をしっかりと休めて、出場するレースで100%のパフォーマンスをするためです。もちろん（A1級条件の）90走はクリアすることが大前提ですけど。そのおかげでG1でコンスタントに優出できたのかもしれないですね、その中でグランプリに出られるだけの賞金を稼ぐことができているのは自信にもなります。



# RYUTA MINÉ

## 好調・佐賀支部

今年は大先輩の上瀧和則さんが引退されました。上瀧さんは僕がデビューする前から佐賀支部のカリスマ的存在。実際に先輩や後輩、支部も関係なく、いろんな人をつけて来させるような魅力溢れる人でした。SG初優勝した丸亀で、表彰式の後に待っていてくれて「今までよく頑張ったな、おめでとう」と握手された時、僕は大号泣してしまい、上瀧さんも一緒にうれし泣きしてくれた。本当にいろんな経験をさせていただいた。そんな偉大な先輩たちのおかげで、今の佐賀支部があると思う。SGなんて、僕と(深川)真二さんの2人だけってことも多かったけど、オールスターにはヤマコー(山田康二)や(上野)真之介、宮地元輝、末永和也と6人も出場した。他にもA1級には安河内兄弟や、(常住)蓮とかもいる。今一番勢いがある支部って言ってもいいんじゃないですかね。

グランプリもサダとの師弟出場もそうだけど、佐賀支部は元輝も入れて3人出場。佐賀支部から3人出場するって、過去にはないんじゃないですか？(賞金上位)

12人の時代は間違いなくなかったと思う。

## 10度目のグランプリ

昨年はダービー優勝、チャレンジカップ準優勝でポンポンって行くことができた。2年ぶりのグランプリでしたが、石野(貴之)さんが優勝して僕は優出2着。頑張りましたね(笑)。

でもやっぱりもう一度、黄金のヘルメットを被りたい。21年の大返還(妨害失格で3連単不成立)は、自分の中では忘れられないし、忘れてはいけないこと。歴代ワーストの41億円も返還したんですから。やってしまったことは消えないけど、ファンに認めてもらうためには、それ以上のパフォーマンスを見せるしかない。ファンだけでなく、選手、業界関係者もみんな「やっぱり峰竜太だな」っていう存在感を見せたい。

僕は2ndからですが、1stから出場するサダと元輝には2ndに勝ち上がって来てほしいので、そこは全力応援。佐賀支部3人で優勝戦に乗って、ワンツースリーを決めたい。もちろん「ワン」は僕ですけどね！